

水稻情報

(第4号)

令和7年6月25日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

6月上旬のコシヒカリの生育は近年に比べ草丈はやや短く、茎数は少なく、葉齢はやや遅く、葉色はやや淡くなっています。

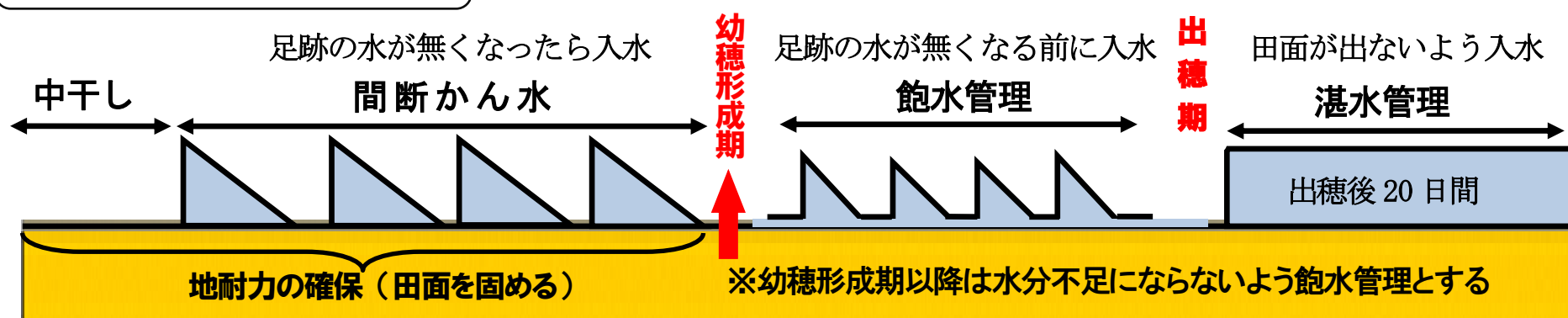
また、てんたかくの幼穂形成期は概ね近年並と見込まれます。

＊中干し後は「間断かん水」、幼穂形成期から出穂期は「飽水管理」を行い、稲の活力を維持しましょう。

＊春から斑点米カメムシ類が多くみられます。畦畔や雑草地の草刈りを徹底しカメムシの発生を抑えましょう。

1. 中干し後の水管理

～「間断かん水」の後、「^{ほうすい}飽水管理」とする！～



○中干し後は間断かん水を行い、てんたかくは6月25日頃まで、コシヒカリは7月10日頃までに足跡の深さが3cm程度になるように地固めしましょう。

○間断かん水での田干しが強すぎると根を傷めたり、葉色の低下を招いたりするので、干しすぎないように留意しましょう。

○中干しが不十分な場合は、くり返し田干しを実施しましょう。

○幼穂形成期以降は飽水管理（足跡の水を切らさないで湿潤状態を保つ水管理）とし、ほ場の乾きすぎや極端な葉色低下に注意しましょう。

○出穂後20日間は湛水管理を行いましょう。

2. 「てんたかく」の穂肥

～穂揃期の葉色を4.2～4.5に誘導する！～

○基肥一発施肥体系の場合…原則として穂肥は不要です。

ただし、幼穂形成期前後（6/25頃）に葉色が4.0（砂壤土で4.2）より低下した場合は、追肥3号で7kg/10a（N成分：1.0kg/10a）程度の追加穂肥を行い、穂揃期の葉色を4.2～4.5（砂壤土で4.5）に誘導しましょう。

○分施肥体系の場合…追肥3号の施用時期及び施用量の目安（5月上旬植えの場合）

回数	1回目	2回目
施用時期	6/25頃〔幼穂長1～2mm〕	1回目の10日後
施用量	10a当たり10～12kg	10a当たり12～13kg

コシヒカリ、てんこもりの穂肥については次号でお知らせします

幼穂形成期の葉色が4.5以上と濃く、茎数が多い（30本／株以上）ほ場では、1回目の穂肥の施用は控えましょう。

3. 中間追肥

～ケイ酸を補給して稲体を丈夫に！～

○中干し後から7月5日頃までに下記のいずれかの資材を施用し、稲体の活力を向上させましょう。

- ・PKけい酸（20kg/10a）・エスアイ加里らくだ（15kg/10a）
- ・エスアイ加里カリ投げくん（4kg/10a（200g×20パック））

4. 紋枯病防除

近年、紋枯病の発生が多くみられます。ほ場での発生状況に応じ防除を行いましょう。

①一般のほ場での防除

- ・防除時期:穂ばらみ期(出穂期の10日前頃)
- ・防除薬剤:粉剤体系:モンカットファイン粉剤20DL(4kg/10a)(収穫14日前まで)
液剤体系:バシタックゾル(1,000倍、100～150ℓ/10a)(収穫14日前まで)

②住宅地など粉剤・液剤散布が困難なほ場での防除

- ・防除時期:てんたかく 7月10日頃、コシヒカリ 7月26日頃
- ・防除薬剤:ワイドパンチ豆つぶ(250g/10a)(収穫 35 日前まで)

いもち病、カメムシ類との同時防除
やや深めの湛水状態で散布。
散布後7日間は落水やかけ流しを
しない。

カメムシ対策 第4回

～適切な雑草管理と防除で斑点米発生防止～

- ◎県内斑点米カメムシ類の越冬後すくい取り虫数は、調査開始以来(平成10年～)で最も多くなっています！
- ◎カメムシによる斑点米被害を防ぐには、畦畔等の草刈りの励行と基本防除が不可欠です。また、ほ場内にノビエやホタルイが残っていると被害を助長するので基本防除前に抜き取りましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ アカスジカスミカメ クモヘリカメムシ ホソハリカメムシ

雑草の管理について

- ・本田内にカメムシを追い込まないよう7月6日頃までに畦畔や水田周辺の雑草地の草刈りを徹底し、その後もイネ科雑草の穂が出ないよう管理しましょう。
- ・大麦跡には積極的に大豆や園芸作物、緑肥等を栽培しましょう。作物の作付けを行わない場合は、雑草等が繁茂しないよう7月6日頃までに耕起しましょう。

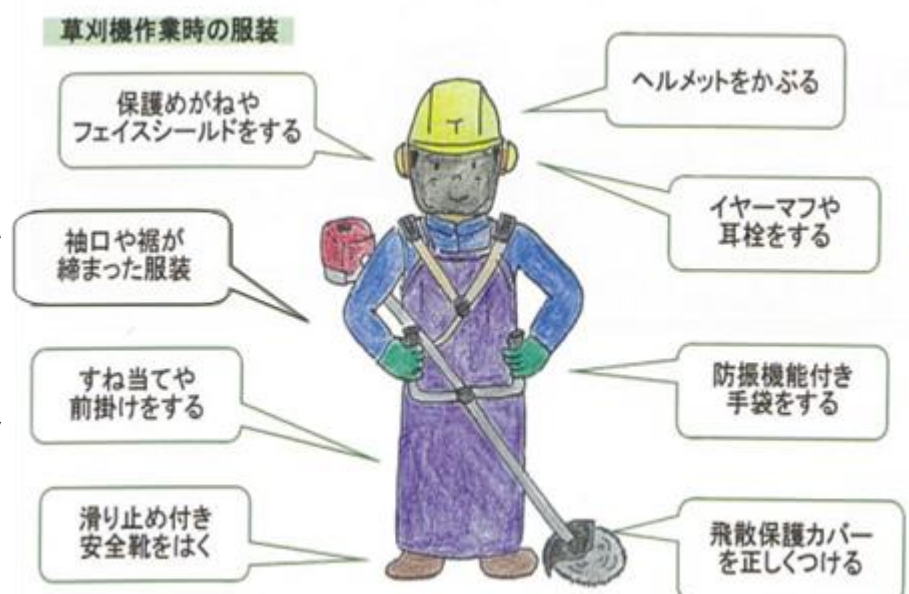


カメムシ類が好む主なイネ科雑草
(左: ナギナタガヤ 右: メヒシバ)

安全な草刈り作業

- ・草刈り作業の際は防護具(右図参照)を装着し、小石等の飛散による被害を防止しましょう。
- ・高い畦畔では途中に小道をつけるなど、足元をしっかりと確保しましょう。
- ・1時間に1回は5分以上の休憩を取り、20分おきにコップ1～2杯の水分を補給して、熱中症防止に努めましょう。

本田基本防除については、次号でお知らせします



草刈り運動期間 6月27日(金)～7月6日(日)

一斉草刈日 6月28日(土)、29日(日)

農作業は安全優先 熱中症対策もしっかり行いましょう！

栽培履歴の記帳・とやまGAPを実践しましょう！

「守ろう 農薬ラベル 確かめよう 周囲の状況」富山県農薬危害防止運動実施中(4/1～9/30)